

平成 27 年 6 月 18 日

6 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は価格暴落で手控え、入荷量も減少。荷動きは長引く製品需要の低迷で製材工場が当用買いに徹し、丸太の手当意欲は減退。スギは比較的引合いの良かった柱材が悪化し、ヒノキは全体に引合いの弱い状況が続く。丸太価格は製品の販売不振による値下がりから、更に軟調な相場展開が続く。スギは柱材が 1 万円割れとなり、中目材も弱気配が続く。ヒノキは 50 年前の価格にまで暴落した柱材・土台取り材が下げ止まりとなり横這い、中目材は弱含みで推移。

群馬の製材工場の操業状況は通常な中、徐々に製品が動き出していることと梅雨期で虫害の懸念が重なり、原木在庫の回転を上げるため中間製品を増やしている状況。5 月後半から構造材に多少の荷動き感あるが、羽柄材・役物は荷動き悪い。製品在庫はヌキなど羽柄と柱等の角材に荷余り感。原木の出材は減少傾向だが、需給バランスから見ると集荷は容易。原木在庫は十分な手当が進む中、4m 材が少なく、3m 材が多少の荷余り感。製品価格は依然投売感があり低位安定状態。

2. 米材

輸出向け丸太は、日本・中国とも引合い低調のまま推移し、米国内製材も市況振るわず減産広がる。産地価格はワシントン州北部が依然値下がり、同南部は底打ち反転基調。2 月以降の連続値下げで中小手山持ちの伐採意欲が減退し、輸出用港頭在庫は急速に減少。輸出向け在庫は急速に減少。ウエアハウザー社の 6 月積み対日米マツ価格は、5 月積比横這い。4 月の米材丸太の入荷は 187 千 m^3 と低調。出荷は 164 千 m^3 で入荷同様低調。在庫は若干増加し 1.2 か月分。国内の大手港湾製材工場は、バラツキはあるが製品販売が 5 月に入り回復傾向。プレカット工場の稼働率も回復基調だが、依然力強さに欠ける展開。米加針葉樹製材品協定に基づくカナダから米国への輸出税は 6 月から 5%→10%にアップ。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)5 月の入荷量は 27.1 千 m^3 (前月比 29.6%減)で大幅減、出荷量は 30.3 千 m^3 で前月と変わらず。在庫量は 51.8 千 m^3 (同 6.1%減)。ランダムレングス紙 15 種平均価格は、5 月末で \$ 315/ m^3 。4 月の米国新設住宅着工は年率 1,135 千戸で、対前年比 9.2%と大幅増。大手サプライヤーの QTR2 積

は前回どおり。QTR3 のオファーはそろそろ出てくるが、円安分を吸収するほどの値下げは難しく、商談は難航すると予測。5 月は仕事に迫力なく当用買い、6 月もこの傾向が続くと予測。急激な円安で次回手当のコストアップは避けられず、在庫の動きは多少上向くと予想。ドル建て商品は円安分を売値に転嫁できず、輸入材は苦戦状態が続く。

3. 南洋材

サバは好天続くも伐区の減少、新規伐区の認可遅れ等から原木出材は非常に少ない。サラワクの出材減で輸出需要に対応できず価格は高値を維持。原木の大半は輸出向けで、地元製材工場の原木不足は深刻。サラワクは不法伐採取締が続く、原木出材は依然大幅に低迷。業界は全体的に仕事が停滞し、製材工場の原木不足も慢性化。PNG ソロモンは原木の輸出禁止国が増える中、オファーが集中し価格は強含み。丸太の入荷は微増、出荷・在庫は横這い、製材品入荷は微増。丸太の販売は合板・製材用とも変化なし。製材品は国内市況が当用買い中心で動き小さく低迷が続く。大幅な円安の影響で今後の製品価格上昇は必至の状況。

4. 北洋材

シベリアは異常天候で出材減が懸念されたが、5 月以降原盤に限り各社一定数量を提示。欧州・中東向けは不調だが、中国向けは内陸部中心に受入順調。富山新港の5月の丸太入荷は3.5千 m^3 、原盤入荷は4.1千 m^3 。在庫は丸太2.9ヶ月分。丸太価格はオファー少なく持ち直し、エゾマツ\$140、カラマツ合板用\$130、アカマツ\$175-180。製材品は現地挽きがじり貧で弱含み、国内挽きは現地挽きの影響で大幅な下げ傾向。荷動きは現地挽き製品が東京、川崎で在庫増。国内挽き製品は胴縁、ヌキと特殊寸法に引合いあるが他は全体的に低調。国内の北洋材製材工場は不採算。稼動状況は丸太減少で生産調整続き製材縮小。受注状況は住宅用が低調。合板用カラマツ丸太の入荷量が対前年比50%増。

5. 合板

原料丸太のうち国産材価格は、スギ、カラマツともに横這い。米材、ロシア材は弱含み状態がここに来て為替変動で不透明。南洋材は違法伐採取締りの影響で出材が減少し高値で張り付いたまま。4月の国内総生産量23.2万 m^3 のうち針葉樹合板は21.7万 m^3 、出荷量は21.0万 m^3 で引続き生産量が出荷量を上回る。在庫量は更に増え26.1万 m^3 と高水準の状態続く。

国産針葉樹合板は5月に入り完全に下げ相場になる。特に下旬にかけては急速に軟化しており乱売の様相。需要が盛り上がりながら市況の立て直しは難

しい状況。今後も弱含みでの推移と予測。輸入合板の荷動きは活発とは言えないが、5月後半から安値一層へ商社の足並みが揃い、先高観を見越した業者からの注文入る。先行き入荷量の減少とコスト高から更なる値上げの方向。国産針葉樹合板の需給バランスは完全に崩れ、供給過多の状態の中で在庫が膨らみ、価格は下げ止まりの声も聞こえるが、メーカーからは市況改善の具体策は聞こえず、需要の期待薄の中でまだ暫くは弱含みで推移すると予測。荷余り品目は針葉樹合板全般。品薄品目はラワン構造用 9mm と厚物。

6. 構造用集成材

原料ラミナの入港は、6月は若干少なめ。€が直近 136 円まで円安が進み、6-7月にかけて円貨を押し上げる。6月には QTR3 交渉が始まり、現地では€価アップの初回出し値を計画。国産集成材の受注状況は、ハウスメーカーに回復の兆しが見え、輸入遅れもあって増加傾向。5月の荷動きは微増。販売先行きは円安が進んでおり、今が底値と判断し WW 管柱を調達する問屋出始める。ハウスメーカーの受注回復を受け、先行き7月が本格的な上昇と予測。価格は、5月はプレカットの稼働悪くギリ安で推移したが、円安の動きから底値感強い。輸入集成材は6月に入港遅れ分と QTR2 契約分が入港するため多めの状況。WW 間柱が入港遅れで品薄傾向。

7. 市売問屋

国産材の構造材は、新築需要が無くすぎ、ヒノキとも柱、土台角等依然として動き鈍い。造作材はリフォーム需要が小粒ながらも旺盛で、内装用の動きは良い。時期的に建具用は低調。外材の構造材も国産材同様需要が低迷しており、米ツガ防腐木材、米マツ平角も引合い弱くギリ安傾向。造作材は内装用スプルー、米ヒバの動きはまずまず。販売動向は買方の手持ち仕事量少なく、当用買い状態が続く。5月連休明け後に期待した需要は、新設住宅着工が伸びず想定以上の不振が続く。

8. 小売

国産材の構造材はスギ柱・間柱、ヒノキ土台・柱とも弱保合。外材は、ロシアアカマツタルキは保合、米ツガ KD 角、平割保合、SPF 保合、WW 間柱保合。造作材はスプルー良材、ナラ、タモ保合。集成材は WW、RW 梁、柱とも弱保合。合板は針葉樹、ラワンともに保合。床板・フロア保合。プレカットは見積り多い。町場工務店の新築、リフォームの見積り多いが、どれだけ受注に結び付くかは不明。

6月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↗	↗	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記の様に示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	↘	↘	↘

3. 価格動向

樹材種	形 状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	↘
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	↘
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	↘
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
スギタルキ3.0×4.0×4m	→			
ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ カスケード (カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’ 米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16” 13’ 米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→ ↘ →
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品		産地価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用
		東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産) 同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→ →
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD)30×40 AB	↘
			アカマツ(KD)15×45AB 18×45AB	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↘
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↘
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	↘
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↘
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↘